

『夢の中の愛』（2）

山根 俊郎

4. 『夢の中の愛』 創作の秘話

何故 孫夕友は、当時“敵性国家 中共”の歌謡曲『夢中人』を翻案したのであるのか？

それは、メロディーが良かったからである。前述の通り『夢の中の愛』のレコードは、1956年にオアシスレコードから発売されたが、既に朝鮮戦争中の1951年に孫夕友が釜山に避難していた頃に創作されていたのである。

以下は、朴ソソ（박성서）著「韓国戦争と大衆歌謡，記録と証言」（2010年、本のある風景社＝韓国語）P122～P131の孫夕友へのインタビュー記事を抜粋して引用する。

（1950年）6・25 勃発の時はソウルに留まったが、（1951年）1・4 後退の時は、仁川から船に乗り釜山に避難した。南濱旅館という旅館に逗留して数か月の避難生活を始めた。軍関係の慰問、米八軍ショー、キャバレー、ダンスホール、劇場などで生きるためにギター演奏者として楽団に出演した。

その頃 自分（孫夕友）は無名なので作曲の依頼はなかった。作曲はしなかった。それで作詞から始めた。これは一人で簡単にできるからだ。

今も歌われている『夢の中の愛』やペティページの『I went your wedding』を『涙のワツ』（눈물의 왁스）に改詞した。これは宋旻道（ソン・ミンド）さんが〔1952年 釜山コロナ〕レコードに吹き込んだ。また『アマダミア』（아마다미아・amademio）〔米映画挿入歌、李南順（イ・ナムスン）唄、1951年オリエントレコード〕のようなタンゴの歌詞も書いた。注文があつて書いたのではなくメロディーを聞いて曲調が良かったからだ。原曲の楽譜もなく原語の歌詞も分からなかった。バンドマンが持っていたメロディブックを参考にした。

『夢の中の愛』は多くの歌手が歌った。金白姫＊

＊金白姫は、1947年ソウル中央放送局の第1期専属歌手となり、48年「妻の歌」（아내의 노래・안애의 노래、金茶人＝趙鳴岩詞・孫牧人曲）を歌った。この歌は、その後朝鮮戦争中の52年「妻の歌」（아내의 노래・안애의 노래）に兪湖が改詞して戦場に夫を送った妻の心情を沈蓮玉（シン・ヨンオク）が歌い上げた。

＊朴丹馬は、1921年－1991.1.23 1937年ビクターからデビュー。38年「アイゴナヨ ガマガルヨ」（아이고나요 맹꽁아）、「私は17歳」（나는 열일곱 살・나쁜 열일곱 살）。54年「シュシャインボーイ」（슈샤인 보이）、55年「アリラン牧童」（아리랑 목동・아리랑 목동）のヒット曲がある。50年代末に米国へ移民。92年71歳で病死。



金白姫



朴丹馬

（私・ベッキ、女性歌手）さんは好んでよく歌った。朴丹馬＊（Park Dan-ma、女性歌手）さんも好きだった。朴丹馬さんからアメリカのポップソングの歌詞をハングルに翻訳して欲しいと依頼を受けて10余曲を翻案したこともあった。

以上のように孫夕友は、当時、主にアメリカンポップスを翻案していた。孫夕友は、釜山でラジオで外国曲を聴いていたようである。

では、孫夕友は1942年に上海で発表された『夢中人』をどうして知りえたのであろうか？

5. 渡辺はま子が歌う『夢の彼の君』

丁度、1951年3月に日本で女性歌手渡辺はま子が『夢中人』を日本語に訳して歌った。題名は『夢の彼の君』である。（次ページジャケット参照）

以下、ウィキペディアから引用する。

渡辺 はま子（わたなべ はまこ 1910年（明治43年）10月27日 - 1999年（平成11年）12月31日）は戦前から戦後にかけて活躍した日本の流行歌手。神奈川県横浜市出身。本名 加藤 浜子。生涯横浜で過ごした。愛称は「おはまさん」。祖父がアメリカ人のクォーターであった。1933年武蔵野音楽学校卒業。横浜高等女学校で音楽教師として在職中、33年ポリドールを経て、同年12月にビクターから『海鳴る空』でデビューした。1935年秋に映画出演が発覚した



V-40549-A 面	『チャンウエイ、チャンウエイ』（薔薇處々開）流行歌 佐伯孝夫譯詞・任光作曲・小澤直與志編曲・渡邊はま子唄。日本ビクター管弦楽団
V-40549-B 面 ☆ラベルあり	『夢の彼の君』流行歌 佐伯孝夫譯詞・松井八郎編曲・渡邊はま子唄。日本ビクター管弦楽団



『夢の彼の君』のジャケット

ため教職を辞し、ビクターの流行歌手に専念するようになる。

1936年『忘れちゃいやヨ』をレコーディング。歌中の「ネエ」の部分の歌い方が内務省から「あたかも娼婦の嬌態を眼前で見るが如き歌唱。エロを満喫させる」と指摘されレコードが発売禁止となる。ヒットを惜しんだビクターは、改訂版として『月が鏡であったなら』とタイトルを変更し歌詞の一部分を削除してレコードを発売、大人気を得る。

このヒットにより『あゝそれなのに』（美ち奴。のち発売禁止）などの「ネエ小唄」ブームが起こる。この状況を快く思わなかった軍部が主導して日本における流行歌の傾向を意図的に変えるために「国民歌謡」を誕生させるキッカケとなる。

1937年4月、コロンビアに移籍。翌年、皮肉にも流行歌の浄化のために統制された国民歌謡の『愛国の花』が移籍後のヒット曲第一号となる。

この頃から渡辺は、戦時下の上海など戦地への慰問も積極的に行うようになり、『シナの夜』、『広東ブルース』等の大陸を題材にした曲目が徐々に増え、人々からは「チャイナ・メロディーの女王」、「チャイナソングのおハマさん」と呼ばれた。

慰問先の満州から松平晃が持ち帰った『何日君再来』も渡辺が歌いレコードが発売されることになる。

戦地慰問で訪れていた天津で終戦を迎え、捕虜として1年間の収容所生活を余儀なくされる。1947

年に結婚し、歌手活動の傍ら横浜で花屋を営みながら、『雨のオランダ坂』、『東京の夜』のヒット曲を飛ばし続けた。1950年敗戦後初めての日本人の芸能使節団として、小唄勝太郎、三味線けい子らと共に祖父の眠るアメリカ各地を公演。帰国後は、古巣のビクターに移籍し、『火の鳥』、『桑港のチャイナ街』などヒット曲を出す。1952年フィリピンの日本人戦犯が作詞作曲した曲『あゝモンテンルパの夜は更けて』を渡辺がレコード化してフィリピン政府に減刑、釈放を嘆願した結果、日本人戦犯全員の日本への帰国が実現した。

1951年のNHK第1回紅白歌合戦で紅組トリを務めた。1973年紫綬褒章を受章。渡辺は特別出演も含めて紅白歌合戦に計9回出場している。1981年勲四等宝冠章を受章。1985年夫が亡くなり、認知症を発症して1989年引退。その後、脳梗塞により寝たきりの生活を送る。1999年12月31日89歳で死亡。

『夢の彼の君』 渡辺はま子

*月影おぼろに照り 夜霧はすすり泣く

夢の彼の君 いづこ 恋し君

波音 寂しき窓 松風 切な気に

夢の彼の君 いづこ 恋し君

薔薇咲くこの世の春に わが吹く笛かなし

逢えぬ恨みをこめて 吹かましほそぼそと

うぐいす はかなく啼き 夜霧ぞ わが泪

夢の彼の君 いづこ 恋し君

*月影おぼろに照り 夜霧はすすり泣く

夢の彼の君 いづこ 恋し君

5. まとめ

以上みてきたように 1942年に中国上海で生まれた『夢中人』は、1951年に日本で“チャイナ・メロディーの女王”の渡辺はま子が『夢の彼の君』として発表した。それを孫夕友が避難先の釜山で聴いて、ハングルの歌詞を付けて翻案曲『夢の中の愛』として創作した。1956年に孫夕友はオアシスレコード専属作曲家になり満を持して、玄仁が歌いレコードを発売した。

その後、この歌は多くの歌手に歌われ韓国大衆音楽のスタンダードに上りつめたのである。今後も末永く歌い継がれることであろう。(終)